

由意思であることを、あらかじめ文書も用いて説明するとともに、調査への同意が得た。

4 分析方法

各調査対象から得られた、面接調査の結果をもとに、それぞれの調査項目について、保健師の役割および保健師への期待、今後の感染症対策の方向性などの観点から分析を行った。

C. 研究結果

1 感染症発生時の初動体制についての現状と課題

食品媒介感染症（細菌性食中毒、ウイルス性食中毒など）が発生した際の初動対応については、散発事例発生の際には、特段の問題も生じないとする意見（食品衛生監視員）があった一方で、食品衛生部門と感染症対策部門での調査票、検体採取の違いなどから、初動対応についても、マニュアル通りにはいかないとの意見（獣医師、食品衛生監視員）があった。集団発生の際のそれぞれの部門が協働して対応する、明確なマニュアルの不存在についての指摘（食品衛生監視員）もあった。

2 関係機関（施設）の情報の管理と現状の課題

食品衛生部門における食品衛生関連施設（飲食店営業施設、大規模給食調理施設など）の施設管理台帳はシステム管理がなされているが、感染症対策部門では個別ファイル管理をしており、システム管理までにはいたっていない。2 部署が連携し、より効率的な対策を進めるためには、双方の情報を共有できるようなシステムが必要との意見があった（食品衛生監視員）。

3 事例検討など共通研修の効果と課題

職種を超えた研修に参加することにより、感染症担当保健師が、異なる部門の担当者、他職種と顔見知りになる機会にもなり、連携が進め易くなる効果も期待できるので、活用すべきとの意見（医師）があった。また専門職にはお互いの領域に立ち入らないといった傾向があるが、共通研修により、それぞれの領域への共通理解が進む効果を期待する意見（食品衛生監視員）もあった。動物由来感染症についての研修、疫学調査研修などへ、

保健師も含めた多くの職種の参加を期待する声もあった（環境衛生監視員、食品衛生監視員）。

4 都の保健所において感染症を専属に所管する係が設置されたことによるメリットとデメリット

体制が充実し機動力も増し、連絡連携をとりやすくなったという意見（環境衛生監視員、食品衛生監視員）がある一方、保健所内での調整機能の不十分な面を指摘する意見（食品衛生監視員）もあった。個別・集団の両面からアセスメントとコーディネートが行える保健師の配属を望む意見（医師）もあった。

5 感染症対策における保健師への期待

社会防衛としての感染症対策は重要であるが、一方で患者本人や家族のメンタルな面や、事後のフォローなどの包括的なケアの面で保健師に期待する声は多かった（事務系職員、医師、獣医師）。具体的には、保育園や学校などでの集団発生時の調査および生活指導などの場面での活躍を期待する意見（獣医師）、保健師が持っている、相談者との相談関係を築き、対象の思いを引き出すことを日常的に行えるスキル（技術）に期待し、感染症発生時の個人あるいは集団への調査や、情報の集約に際してその技術の活用を望む意見（医師）もあった。

一方で、感染症対策全般にわたって知識と技術のレベルアップへの期待や、経口感染による健康被害が増えるなかで医療についての専門知識のさらなる習得を期待する意見もあった（環境衛生監視員、食品衛生監視員）。

6 感染症対策が推進されるために今後必要と考えられる事項

東京都では保健所の感染症対策部門は医師と保健師を中心に係が構成されているが、食品衛生監視員、環境衛生監視員、獣医師なども含めた他職種混成チームで対応すると効率のよい業務が行えるという意見（環境衛生監視員、獣医師）があった。特に今後動物由来感染症の発生の増加が危惧される中で、獣医師の活用を指摘する意見（獣医師）があった。

現実には複数の課（東京都保健所では保健対策課と生活環境安全課の二課）にまたがって対策が行われる弊害を薄めるために、平常時から新しく入手した情報（法や規則の改正内容、研修情報、手引き、マニュアルの改訂など）を両課で相互に情報提供や相談などをおこなって、発生時に息のあった連携をできるようにすべきとの意見もあった（環境衛生監視員）。

一方、専門職は精度管理など、感染症対策における技術的な発想は豊富だが、行政として行うべき制度や基準づくりについては優先順位が下がる傾向があるとの指摘もあった（事務系職員）。

また、感染症発生時の対応テクニックも重要であるが、平常時の予防対策を住民ひとりひとりに浸透させることの重要性を指摘する意見があった（食品衛生監視員）。

D. 考察

新型インフルエンザ発生の危険性も高まるなか、感染症対策の強化を求める声も強い。第2次世界大戦終了後の日本は、占領軍 GHQ のサムス准将の言葉を借りれば、中世ヨーロッパ並みの医療水準と思われるほど、医療体制は崩壊しており、そのなかで、赤痢、腸チフスなどの経口感染症が多発するとともに、また結核も猛威を振るっていた。その頃の公衆衛生対策、地域保健上の重要課題は、まさに感染症対策であり、保健師の感染症対応技術も優れたものがあつたろう。その後環境衛生水準の向上、抗生物質の普及を始めとする医療の進歩もあり、疾病構造が変化するなかで、保健師の感染症に対するスキルも低下してきた事実は否めない。しかし 21 世紀に入って、国際化の進展もあり、新興・再興感染症をはじめとする感染症の脅威が高まり、保健師への期待も高まっている。本研究においても、他の職種からの保健師への期待には大きなものがある。特に日常的な保健師活動のなかで培われた、住民への対応能力については、総合的にみて保健師の優れた能力のひとつであり、他の職種からの期待も大きいことが明らかになった。一方で食品衛生監視員や環境衛

生監視員からは、感染症に対するさらなるスキルアップの必要性を指摘する意見もあり平常時における研修の充実の必要性が認められる。

また事務系職員からは保健師も含め技術系職員に対する行政的役割の自覚を求める意見もあり、今後技術系職員の能力向上が求められる。

また研修については多くの部門、さまざまな職種が共同して研修に参加することにより、感染症発生時の連携に資するという意見も多かった。今後の研修を企画するうえで共同研修を大いに実施すべきであると考えられる。

医師、保健師が中核を担ってきた感染症対策について、他の職種の参画を求める意見もあった。食品媒介感染症は言うまでもなく、今後動物由来感染症の増加も危惧されるなか、感染経路の遮断や、家畜、ペットの適正な飼養の指導など、獣医師をはじめとする他職種の活用も必要と考えられる。

E. 結論

感染症対策における保健所保健師の役割を中心に、保健師以外の他職種に対して面接調査を行い以下の結果を得た。

- ① 保健師の住民への対応能力が感染症対策にも大いに期待される。
- ② 保健師の感染症に関するスキルの更なる向上が望まれる。
- ③ 平常時における行政の感染症対策への対応の強化が求められる。
- ④ 多職種による共同研修は感染症発生時の連携強化に有効と考えられる。
- ⑤ 2 部署が協働で関わる事例については情報の共有ができるシステムが必要である。
- ⑥ さまざまな感染症の脅威が高まるなか、獣医師など他の職種の感染症対策部門への配置を考慮すべきである。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表
なし
2. 学会発表
なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし

引用文献・参考文献

- 1) 日本人の生命を守った男；二至村菁，講談社

資 料

平成19年12月

保 健 師 各 位

平成19年度厚生労働省科学研究費補助金(健康危機管理研究事業)
「結核・感染症の発生に備えた保健所保健師の平常時体制づくり並びに現任教育プログラムの開発に関する研究」
主任研究者 自治医科大学看護学部 教授 春山早苗

平常時における保健所保健師の感染症対策に関わる活動実態調査への ご協力をお願い

時下ますますご清祥の段、お喜び申し上げます。

さて、当研究班では、近年の感染症と保健所を取り巻く状況を踏まえ、保健所保健師が感染症対策を担う保健医療従事者の一人として他職種と連携しながらどのように活動していけばよいか、平常時の保健所保健師活動のガイドラインを示すこと、並びに、保健所保健師の現任教育プログラムを検討することを目的に、平成19年度厚生労働省科学研究費補助金を受け、「結核・感染症の発生に備えた保健所保健師の平常時体制づくり並びに現任教育プログラムの開発に関する研究」に取り組んでおります。

このたび、この研究の一環として、感染症予防や新型インフルエンザを含めた感染症の発生に備えた平常時における保健所保健師の活動体制と活動実態、並びに、感染症業務に関する現任教育の実態について調査することとなりました。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、本調査の趣旨にご同意いただきましたならば、調査へのご協力をいただきたく何卒よろしくお願い致します。ご回答いただいた調査票は、同封の返信用封筒をご使用いただき、平成19年12月25日(火)までに返送くださるようお願い致します。

なお、本調査は、都道府県、並びに、保健所を設置している市区の各保健所において、感染症を担当されている保健師に回答をお願いするものです。感染症担当保健師がいない場合には、他の業務をしながら感染症業務を担っている保健師にご回答をお願い致します。いずれも該当者が複数いる場合には、代表者1名にご回答をお願い致します。また、感染症業務の中の性感染症対策に関しては除外してご回答下さい。

調査票は無記名であり、ご回答いただいた内容については、すべて統計的に処理し、回答者個人および個々の自治体が特定されるような公表はいたしません。また、本調査以外の目的に使用することは決してございません。本調査につきまして、ご不明な点がございましたら、下記の連絡先にお問い合わせ下さいますようお願い致します。

調査結果につきましては、調査対象である全保健所の保健師の方々へ送付させていただきます。

連絡先(事務局)

自治医科大学看護学部 地域看護学領域 工藤奈織美
〒329-0498 栃木県下野市薬師寺3311-159
TEL:0285-58-7508 FAX:0285-58-7413
E-mail:nakudo@jichi.ac.jp

*本調査は、結核を含む感染症業務に専任で従事している保健師(以下、感染症担当保健師)に回答をお願いしています。

感染症担当保健師がいない場合は、他の業務をしながら感染症業務を担っている保健師にご回答いただきたく、よろしくお願ひ申し上げます。その場合は、設問の「感染症担当保健師」を「保健師」に読み替えてご回答下さい。

A. 回答者であるあなた自身についてお聞きします。該当するものに○をつけて下さい。

1. 自治体保健師としての勤務年数は何年ですか。他の自治体での勤務経験がある方は通算でお答え下さい。

①3年未満 ②3～4年 ③5～9年 ④10～14年 ⑤15～19年 ⑥20～24年
⑦25～29年 ⑧30年以上

2. 感染症担当になって何年目ですか。他の保健所等での経験がある方は通算でお答え下さい。

①1年目 ②2年目 ③3年目 ④4年目 ⑤5年目以上 ⑥感染症担当としての経験はない

3. 現在勤務されている保健所での勤務は何年目ですか。

1. 1年目 2. 2年目 3. 3年目 4. 4年目 5. 5年目以上

B. あなたが現在勤務されている保健所についてお聞きします。

8以外は平成19年4月1日現在(不明な場合はその前後の直近)の状況をお答え下さい。

4. 保健所管内の概要についてご記入下さい。

①管轄市町村数()
②人口()人
④老年人口割合()% ; ④出生数()人
⑤管内の特徴:あてはまるものすべてに○をつけて下さい
1.人口密集地がある 2.住所不定者の多い市町村がある
3.感染症の集団発生を起こしやすい施設(病院、高齢者施設、学校等)の多い市町村がある
4.管轄地域内での人や物の往来が活発 5.管外との人や物の往来が活発
6.海外との人や物の往来が活発 7.外国籍の住民や労働者が多い市町村がある
8.下水道普及率が5割未満の市町村がある

5. 保健師総数をお書き下さい。

人

6. 感染症担当者の職種別構成人数をご記入下さい。

①保健師()人 ②放射線技師()人 ③管理栄養士()人 ④医師()人
⑤事務職()人 ⑥薬剤師()人 ⑦その他()()人
⑧その他()()人 合計()人

7. 現在勤務されている保健所の組織図に、結核・感染症業務を担っている部署に○をつけて、調査票に添付して下さい。

8. 保健所管内の感染症発生状況及び医療体制等についてご記入下さい。

①以外は平成18年についてお書き下さい。

①平成16年度～18年度の3年間に、管内で発生した結核集団感染の件数 ()件

*集団感染:同一の感染源が2家族以上にまたがり、20人以上に感染させた場合。発病者1人は6人が感染した者として計算。

②管内結核罹患率() *人口10万対率で表した新規登録患者数

③結核を除く感染症のうち、管内で発生件数が多かった疾患

第1位(疾患名:)
第2位(疾患名:)
第3位(疾患名:)

④管内第一種感染症指定医療機関数 ()

⑤管内第二種感染症指定医療機関数 ()

⑥管内市町村で、予防接種や感染症の担当者として位置づけられている常勤保健師はいますか?

(1.いる→市町村数: ヶ所 2.いない)

C. 感染症(性感染症を除く)の発生予防を目的とした活動についてお聞きます。

V 以外は18年度の状況をお書き下さい。

I. 医療監視について

9. 保健師は医療監視のメンバーに入っていましたか。

1.はい 2.いいえ

10. 9で「はい」と回答した方は、保健師の①入り方と②役割についてご記入下さい。

①保健師の入り方 (1.毎回 2.必要に応じて随時)
②保健師の役割()

11. 医療監視のメンバーについて該当するものすべてに○をつけてください。

①感染症担当保健師	②感染症担当でない保健師	③医師	④薬剤師	⑤環境衛生監視
⑥食品衛生監視員	⑦臨床検査技師	⑧放射線技師	⑨管理栄養士	⑩事務職
⑪その他()				

II. 施設監視・集団給食実施施設指導について

12. 施設監視・集団給食実施施設指導についてご記入下さい。

	1)高齢者福祉施設	2)障害者福祉施設	3)児童福祉施設
①保健師の同行	1.有 2.無	1.有 2.無	1.有 2.無
以下は「有」と回答した場合のみお答え下さい ②保健師の入り方	1.毎回 2.随時	1.毎回 2.随時	1.毎回 2.随時
③保健師の役割			
④監視・指導メンバー 該当するものすべてに○をつけて下さい	1. 食品衛生監視員 2. 管理栄養士 3. 感染症担当保健師 4. 感染症担当でない保健師 5. 環境衛生監視員 6. 事務職 7. その他()	1. 食品衛生監視員 2. 管理栄養士 3. 感染症担当保健師 4. 感染症担当でない保健師 5. 環境衛生監視員 6. 事務職 7. その他()	1. 食品衛生監視員 2. 管理栄養士 3. 感染症担当保健師 4. 感染症担当でない保健師 5. 環境衛生監視員 6. 事務職 7. その他()

III. 教育機関への働きかけについて

13. 感染症予防のために保健所として教育機関に働きかけたことはありますか。

1.はい 2.いいえ

14. 13で「はい」と回答した方は、その内容について該当するものすべてに○をつけて下さい。

①教育委員会	1.教育委員会を通じて、委員会が所管する教育機関へ、感染症に関する知識や情報を提供 2.感染症の予防や発生時の備えを、教育委員会が自主的に取り組むように支援 3.日頃の情報交換や感染症発生時の対応がスムーズにできるよう、保健所と教育委員会との信頼関係を構築 4.その他()
②教育機関	1.個々の教育機関に、感染症に関する知識や情報を提供 2.感染症の予防や発生時の備えを、個々の教育機関が自主的な取り組むように支援 3.日頃の情報交換や感染症発生時の対応がスムーズにできるよう、個々の教育機関と保健所との信頼関係を構築 4.日頃の情報交換や感染症発生時の対応がスムーズにできるよう、複数の教育機関と保健所とのネットワークを構築 5.その他()

IV. 住民や管轄市町村等への感染症予防のための活動について

15. 保健所保健師が関わった感染症予防のための健康教育や研修の実施状況をご記入下さい。
3)実施メンバー、4)実施の機会は該当するものすべてに○をつけて下さい。

1)対象	2)実施回数	3)保健師以外の実施メンバー	4)実施の機会
①住民	回	1.保健所医師 2.市町村保健師 3.その他()	1.単独で実施 2.他の事業と一緒に実施 →事業名()
②施設 (高齢者・障害者・児童福祉・ 保育園・[])	回	1.保健所医師 2.食品衛生監視員 3.保健所管理栄養士 4.その他()	1.単独で実施 2.他の事業と一緒に実施 →事業名()
③施設 (高齢者・障害者・児童福祉・ 保育園・[])	回	1.保健所医師 2.食品衛生監視員 3.保健所管理栄養士 4.その他()	1.単独で実施 2.他の事業と一緒に実施 →事業名()
④食品衛生対象業者	回	1.保健所医師 2.食品衛生監視員 3.その他()	1.単独で実施 2.他の事業と一緒に実施 →事業名()
⑤環境衛生対象業者	回	1.保健所医師 2.環境衛生監視員 3.その他()	1.単独で実施 2.他の事業と一緒に実施 →事業名()
⑥医療機関	回	1.保健所医師 2.保健所薬剤師 3.その他()	1.単独で実施 2.他の事業と一緒に実施 →事業名()
⑦その他()	回	1.保健所医師 2.保健所薬剤師 3.その他()	1.単独で実施 2.他の事業と一緒に実施 →事業名()

16. 感染症予防のために管轄市町村や住民等を対象に行った活動についてお聞きします。
保健所保健師が関与した活動には○を、保健師は関与しなかったが保健所として実施した活動には△をつけてください。

活動内容	1) 実施状況 (○△)	2) 1)に○または△をつけた場合、該当するものすべてに○をつけてください。
①管轄市町村発行の広報誌による啓発活動		
②保健所発行の広報誌による啓発活動		
③市町村ホームページによる啓発活動		
④保健所ホームページによる啓発活動		
⑤新型インフルエンザのパンフレットの配布		【発行者】 1.都道府県 2.保健所 3.市町村
⑥感染症関連のパンフレットの配布(⑤を除く)		【発行者】 1.都道府県 2.保健所 3.市町村
⑦市町村への情報提供		【頻度】 1.定期 2.随時 【対象】 1.母子保健担当者 2.成人保健担当者 3.障害福祉担当者 4.介護保険担当者 5.その他()
⑧相談対応		【対象】 1.住民 市町村 2.母子保健担当者 3.成人保健担当者 4.介護保険担当者 5.障害福祉担当者 施設等 6.高齢者施設 7.障害者施設 8.児童福祉施設 9.教育機関 10.その他()
⑨感染症対策に関連したマニュアル作成支援		【対象】 1.市町村 2.医療機関 3.高齢者施設 4.障害者施設 5.児童福祉施設 6.教育機関 7.その他()
⑩その他()		

V. 予防計画について

17. 結核・感染症予防計画の策定に保健所保健師は関与しましたか。

1.はい 2.いいえ

18. 17で「はい」と回答した方は、その内容や方法について具体的にご記入下さい。

D. 感染症(性感染症を除く)の早期発見を目的とした活動についてお聞きます。
 平成18年度から現在までの状況をお答え下さい。

19. 感染症に関連する情報を迅速に把握するために、保健所保健師が実施したことには○を、
 保健師は実施していないが保健所として実施していることには△をつけて下さい。

活動内容	1) 実施状況 (○△)	2) 1)に○または△をつけた場合、 該当するものすべてに○をつけてください。
①感染症発生動向調査事業報告の確認		【頻度】1.週2回以上 2.週に1回 3.月に1～2回 4.数ヶ月に1回 5.随時
②都道府県内の感染症発生動向の確認		【頻度】1.週2回以上 2.週に1回 3.月に1～2回 4.数ヶ月に2回 5.随時 【情報源】1.本庁感染症担当部署 2.都道府県独自のネットワークシステム 3.都道府県衛生研究所 4.その他()
③他の地域の感染症流行の情報から 管内の感染症発生・まん延の可能性を予測		
④新聞記事等マスメディアの情報整理		【頻度】1.週2回以上 2.週に1回 3.月に1～2回 4.数ヶ月に1回 5.随時
⑤住民や関係機関の相談や情報から 感染症発生の可能性を察知		
⑥所内の感染症担当保健師間で情報を 交換・共有		【頻度】1.週2回以上 2.週に1回 3.月に1～2回 4.数ヶ月に1回 5.随時
⑦感染症発生動向を共有し対策を検討する 保健所内関係者会議の開催		【頻度】1.()カ月に()回 2.随時 【メンバー】 1.保健所長 2.感染症担当保健師 3.食品衛生監視員 4.環境衛生監視員 5.2～4以外の感染症担当者 6.感染症担当でない保健師 7.その他()
⑧感染症発生動向を共有し対策を検討する 保健所主催の管内関係者会議の開催		【頻度】1.()カ月に()回 2.随時 【メンバー】 1.保健所長 2.感染症担当の保健所保健師 3.食品衛生監視員 4.環境衛生監視員 5.保健所管理栄養士 6.2以外の保健所保健師 7.管内市町村事務職員 8.管内市町村保健師 9.医療機関 10.医師会 11.歯科医師会 12.薬剤師会 13.高齢者施設職員 14.障害者施設職員 15.児童福祉施設職員 16.学校教職員 17.教育委員会 18.その他()
⑨⑦⑧以外に感染症発生動向を共有し、 対策を検討する会議への出席		【主催】1.本庁感染症担当部署 2.その他() 【頻度】1.()カ月に()回 2.随時 【メンバー】 1.本庁の感染症担当部署職員 2.保健所の感染症担当保健師 3.保健所の食品衛生監視員 4.保健所の環境衛生監視員 5.その他()
⑩管内の状況をふまえ、災害時に発生する 可能性のある感染症を予測して備える		
⑪その他()		

20. 保健所の判断で、定点把握から全数把握へ変更した感染症、あるいは報告義務はないが
 医療機関で把握したら保健所に報告してもらおうようにした感染症がありますか。

1.有(疾患名:)	2.無
------------	-----

E. 感染症発生時の体制づくりを目的とした活動についてお聞きします。

I. 感染症の予防や発生時対応に関する手引書(マニュアル)について

21. 感染症の予防や発生時対応に関する手引書(マニュアル)についてご記入下さい。

2)~4)は該当するものすべてに○をつけて下さい。

なお、3)有効性の確認、4)周知活動についてはマニュアル作成から調査時点までの状況をお書き下さい。

	1)有無	2)作成主体	3)有効性の確認	4)周知活動
①健康危機管理マニュアル	1.有 2.無	1.都道府県 2.保健所 3.市町村 4.その他 ()	1.実施 2.未実施 ↓*以下にご回答を 【頻度】 1.()年に()回 2.随時 【実施方法】 1.他地域で実際に起きた事例にあてはめて検証 2.シミュレーションの実施 3.その他 ()	1.実施 2.未実施 ↓*以下にご回答を 【対象】 1.市町村 2.医療機関 3.高齢者施設 4.障害者施設 5.児童福祉施設 6.幼稚園 7.学校 8.教育委員会 9.その他() 【方法】 1.マニュアルを送付 2.保健所運営協議会で周知 3.既存の関係者会議で周知 4.2,3以外に周知のための会議を実施 5.マニュアルを用いて研修会を実施 6.その他()
②新型インフルエンザ対策マニュアル	1.有 2.無	1.都道府県 2.保健所 3.市町村 4.その他 ()	1.実施 2.未実施 ↓*以下にご回答を 【頻度】 1.()年に()回 2.随時 【実施方法】 1.他地域で実際に起きた事例にあてはめて検証 2.シミュレーションの実施 3.その他 ()	1.実施 2.未実施 ↓*以下にご回答を 【対象】 1.市町村 2.医療機関 3.高齢者施設 4.障害者施設 5.児童福祉施設 6.幼稚園 7.学校 8.教育委員会 9.その他() 【方法】 1.マニュアルを送付 2.保健所運営協議会で周知 3.既存の関係者会議で周知 4.2,3以外に周知のための会議を実施 5.マニュアルを用いて研修会を実施 6.その他()
③その他のマニュアル (名称:)	1.有 2.無	1.都道府県 2.保健所 3.市町村 4.その他 ()	1.実施 2.未実施 ↓*以下にご回答を 【頻度】 1.()年に()回 2.随時 【実施方法】 1.他地域で実際に起きた事例にあてはめて検証 2.シミュレーションの実施 3.その他 ()	1.実施 2.未実施 ↓*以下にご回答を 【対象】 1.市町村 2.医療機関 3.高齢者施設 4.障害者施設 5.児童福祉施設 6.幼稚園 7.学校 8.教育委員会 9.その他() 【方法】 1.マニュアルを送付 2.保健所運営協議会で周知 3.既存の関係者会議で周知 4.2,3以外に周知のための会議を実施 5.マニュアルを用いて研修会を実施 6.その他()

II. 保健所内の発生時体制について:平成18年度から現在までの状況についてお答え下さい。

22. 平常時及び感染症発生時に、感染症担当保健師は、所内の職員とどのような協働活動をしていますか。該当するものすべてに○をつけて下さい。

①食品衛生監視員	1.講習会等、食監の所管事業に感染症担当保健師が協力 2.感染症担当保健師の所管事業に食監が協力 3.1,2以外に食監と感染症担当保健師が協働で事業を実施 4.所内会議で情報を交換・共有	5.4以外に日頃から情報を交換・共有 6.食品に起因すると思われる感染症が発生したとき、食監と一緒に疫学調査等を実施 7.集団発生の可能性があるとき、食監と一緒に疫学調査等を実施 8.その他()
②環境衛生監視員	1.講習会等、環監の所管事業に感染症担当保健師が協力 2.感染症担当保健師の所管事業に環監が協力 3.1,2以外に環監と感染症担当保健師が協働で事業を実施 4.所内会議で情報を交換・共有	5.4以外に日頃から情報を交換・共有 6.空気や水に起因すると思われる感染症が発生したとき、環監と一緒に疫学調査等を実施 7.集団発生の可能性があるとき、環監と一緒に疫学調査等を実施 8.その他()
③感染症担当でない保健師	1.感染症担当でない保健師の所管事業に感染症担当保健師が協力 2.感染症担当保健師の所管事業に感染症担当でない保健師が協力 3.1,2以外に感染症担当と感染症担当でない保健師が協働して事業を実施 4.所内会議で情報を交換・共有 5.4以外に日頃から情報を交換・共有 6.小規模でも感染症が発生したときは、感染症担当保健師と感染症担当でない保健師が協力して疫学調査や健康相談・健康教育等を実施 7.集団発生の可能性があるときは、感染症担当保健師と感染症担当でない保健師が協力して疫学調査や健康相談・健康教育等を実施 8.その他()	
④その他 { 職種名: }	1.講習会や医療監視等、その職種の所管事業に感染症担当保健師が協力 2.感染症担当保健師の所管事業にその職種が協力 3.1,2以外にその職種と感染症担当保健師が協働で事業を実施 4.所内会議で情報を交換・共有	5.4以外に日頃から情報を交換・共有 6.小規模でも感染症が発生したときは、その職種と一緒に疫学調査等を実施 7.集団発生の可能性があるとき、その職種と一緒に疫学調査等を実施 8.その他()

23. 保健師と他職種との協働活動において課題はありますか。

職 種	1)課題有無	2) 1)で課題「有」の場合はその内容を具体的にお書き下さい
①食品衛生監視員	1.有 2.無	
②環境衛生監視員	1.有 2.無	
③感染症担当でない保健師	1.有 2.無	
④その他の職種	1.有 2.無	

24. 所内職員を対象とした感染症対策のための研修や学習会の実施状況についてご記入下さい。

1)テーマ・目的	2)対象・参加者	3)企画・実施者
①	1.所内全職員 2.感染症担当 3.食品衛生担当 4.環境衛生担当 5.感染症担当でない保健師 6.その他()	1.保健所長 2.感染症担当部署 3.健康危機管理担当部署 4.その他()
②	1.所内全職員 2.感染症担当 3.食品衛生担当 4.環境衛生担当 5.感染症担当でない保健師 6.その他()	1.保健所長 2.感染症担当部署 3.健康危機管理担当部署 4.その他()

25. 感染症発生時に備えた所内体制整備について、該当するものに○をつけて下さい。

整備内容	1)体制整備	2)マニュアル等に明文化
①感染症発生時の第一報を保健所閉庁時に受理する体制	1.有 2.無	1.有 2.無
②保健所内緊急連絡網	1.有 2.無	1.有 2.無
③感染症発生時の指揮命令系統	1.有 2.無	1.有 2.無
④感染症発生時に保健所長が不在の場合の意志決定	1.有 2.無	1.有 2.無
⑤感染症発生時の24時間勤務体制	1.有 2.無	1.有 2.無
⑥感染症担当保健師でない保健師の応援体制	1.有 2.無	1.有 2.無
⑦感染症防護具(マスク、手袋、ガウン等)の備蓄	1.有 2.無	1.有 2.無
⑧その他()	1.有 2.無	1.有 2.無

26. 感染症発生時の対応にあたる職員の健康管理について、ご記入下さい。

内 容	1)実施有無	2)1)に「有」の場合、該当するものすべてに○をつけてください。
①抗体検査の実施	1.有 2.無	【実施状況】 流行予測時・毎年()年度から開始 【疾患名】 1.麻疹 2.風疹 3.水痘 4.百日咳 5.その他()
②予防接種の実施	1.有 2.無	【実施状況】 流行予測時・毎年()年度から開始 【疾患名】 1.麻疹 2.風疹 3.水痘 4.百日咳 5.その他()
③ ①②の他に配慮していること	1.有 2.無	※具体的にお書き下さい

27. 感染症の集団発生等を想定した訓練の実施状況について、ご記入下さい。

1)想定した感染症	2)実施頻度	3)実施形態	4)参加メンバー
①	1.定期 →()ヶ月に()回 2.不定期 →最後に実施した時期 (平成 年 月)	1.机上訓練 2.実地訓練 3.その他()	【所内】 1.全職員 2.保健所長 3.感染症担当 4.健康危機管理担当 5.食品衛生担当 6.環境衛生担当 7.感染症担当でない保健師 8.その他() 【所外】 9.警察 10.消防署 11.管内市町村保健師 12.保健師以外の管内市町村職員 13.医療機関 14.医師会 15.歯科医師会 16.薬剤師会 17.高齢者施設職員 18.障害者施設職員 19.児童福祉施設職員 20.学校教職員 21.教育委員会 22.住民 23.その他()
②	1.定期 →()ヶ月に()回 2.不定期 →最後に実施した時期 (平成 年 月)	1.机上訓練 2.実地訓練 3.その他()	【所内】 1.全職員 2.保健所長 3.感染症担当 4.健康危機管理担当 5.食品衛生担当 6.環境衛生担当 7.感染症担当でない保健師 8.その他() 【所外】 9.警察 10.消防署 11.管内市町村保健師 12.保健師以外の管内市町村職員 13.医療機関 14.医師会 15.歯科医師会 16.薬剤師会 17.高齢者施設職員 18.障害者施設職員 19.児童福祉施設職員 20.学校教職員 21.教育委員会 22.住民 23.その他()

F. 感染症担当業務全般に関することについてお聞きます。

28. 結核に関する業務は、感染症担当業務の何割くらいを占めていますか。

約 割

G. 感染症担当保健師の資質向上についてお聞きます。

29. 感染症担当保健師が情報入手や資質向上を行うための機会や体制について、平成18年度から現在までの状況をご記入下さい。

内 容	1)実施有無	2) 1)に「有」の場合、記入して下さい。
①都道府県内の感染症担当者(保健師以外の職種を含む)の会議	1.有 2.無	【頻度】1.定期的→()カ月に()回 2.随時
②都道府県内の感染症担当保健師(原則として他職種は含まない)の会議や学習会	1.有 2.無	【頻度】1.定期的→()カ月に()回 2.随時
③感染症に関する研修への参加	1.有 2.無	【頻度】保健師一人あたり年に()回
④都道府県内他保健所の感染症担当保健師との電話やメールによる情報交換・相談	1.有 2.無	【頻度】1.定期的→()カ月に()回 2.随時
⑥感染症に関する事例検討会	1.有 2.無	【参加メンバー】※該当するものすべてに○ 1.所内の感染症担当保健師 2.1以外の所内の感染症担当職員 3.感染症担当でない所内保健師 4.1～3以外の所内職員 5.管内市町村事務職員 6.管内市町村保健師 7.医療機関 8.施設職員 9.学校教職員 10.本庁感染症担当者 11.都道府県内他保健所の感染症担当保健師 12.学識経験者 13.その他()
⑦新任者へのベテラン保健師による指導体制	1.有 2.無	
⑧感染症担当でない保健師が感染症業務を体験する研修	1.有 2.無	【研修期間】保健師一人あたり平均()ヶ月
⑨新人保健師は感染症担当に配属しない	1.有 2.無	
⑩その他()		

30. あなたがこれまで受けた研修の中で、感染症業務を担当する上で役に立った研修についてご記入下さい。役に立った研修を受けたことがない場合には、1)の①に「なし」とご記入下さい

1)テーマや内容	2)主催・実施者	3)研修方法
①	1.国立保健医療科学院 2.国立感染症研究所 3.結核研究所 4.日本看護協会 5.都道府県看護協会 6.都道府県 7.その他()	1.講義 2.紙上の事例検討 3.シミュレーション演習 4.その他()
②	1.国立保健医療科学院 2.国立感染症研究所 3.結核研究所 4.日本看護協会 5.都道府県看護協会 6.都道府県 7.その他()	1.講義 2.紙上の事例検討 3.シミュレーション演習 4.その他()

31. 感染症対策を担う上で保健所保健師に必要なと思う研修はどのようなものですか。

テーマや内容、方法等、できるだけ具体的にご記入下さい。

	1)保健師のみを対象とした研修	2)他職種との合同研修
①感染症担当保健師に必要な研修		
②感染症担当でない保健師に必要な研修		

H. 最後に

32. 研修のあり方を含めて、感染症対策について課題と感じていましたら、ご自由にお書き下さい。

--

御協力いただきありがとうございました。

- ★今回の調査結果をふまえて、次年度に感染症担当保健師への聞き取り調査を予定しております。都合があえば聞き取り調査に協力してもよいと思われる方は、所属、御氏名、連絡先をお書き下さい。

所属:	保健所	課
御氏名:	電話番号:	
メールアドレス:		

*本調査は、結核を含む感染症業務に専任で従事している保健師(以下、感染症担当保健師)に回答をお願いしています。
 感染症担当保健師がない場合は、他の業務をしながら感染症業務を担っている保健師にご回答いただきたく、よろしくお願い申し上げます。その場合は、設問の「感染症担当保健師」を「保健師」に読み替えてご回答下さい。

A. 回答者であるあなた自身についてお聞きします。該当するものに○をつけて下さい。

1. 自治体保健師としての勤務年数は何年ですか。他の自治体での勤務経験がある方は通算でお答え下さい。

①3年未満	②3～4年	③5～9年	④10～14年	⑤15～19年	⑥20～24年
⑦25～29年	⑧30年以上				

2. 感染症担当になって何年目ですか。他の保健所等での経験がある方は通算でお答え下さい。

①1年目	②2年目	③3年目	④4年目	⑤5年目以上	⑥感染症担当としての経験はない
------	------	------	------	--------	-----------------

3. 現在勤務されている保健所での勤務は何年目ですか。

1. 1年目	2. 2年目	3. 3年目	4. 4年目	5. 5年目以上
--------	--------	--------	--------	----------

B. あなたが現在勤務されている保健所についてお聞きします。

8以外は平成19年4月1日現在(不明な場合はその前後の直近)の状況をお答え下さい。

4. 保健所管内の概要についてご記入下さい。

①人口 ()人	
②老年人口割合 ()%	③出生数 ()
④管内の特徴:あてはまるものすべてに○をつけて下さい	
1.人口密集地がある	2.住所不定者の多い地区がある
3.感染症の集団発生を起こしやすい施設(病院、高齢者施設、学校等)が多い	
4.管轄地域内での人や物の往来が活発	5.管外との人や物の往来が活発
6.海外との人や物の往来が活発	7.外国籍の住民や労働者が多い
8.下水道普及率が5割未満の地区がある	

5. 保健師総数をお書き下さい。

	人
--	---

6. 感染症担当者の職種別構成人数をご記入下さい。

①保健師()人	②放射線技師()人	③管理栄養士()人	④医師()人
⑤事務職()人	⑥薬剤師()人	⑦その他()()人	
⑧その他()()人	合計()人		

7. 現在勤務されている保健所の組織図に、結核・感染症業務を担っている部署に○をつけて、調査票に添付して下さい。

8. 保健所管内の感染症発生状況及び医療体制等についてご記入下さい。

①以外は平成18年についてお書き下さい。

①平成16年度～18年度の3年間に、管内で発生した結核集団感染の件数 ()件 *集団感染:同一の感染源が2家族以上にまたがり、20人以上に感染させた場合。発病者1人は6人が感染した者として計算。
②管内結核罹患率 () *人口10万対率で表した新規登録患者数
③結核を除く感染症のうち、管内で発生件数が多かった疾患 第1位(疾患名:) 第2位(疾患名:) 第3位(疾患名:)
④管内第一種感染症指定医療機関数 ()
⑤管内第二種感染症指定医療機関数 ()

C. 感染症(性感染症を除く)の発生予防を目的とした活動についてお聞きます。

V 以外は18年度の状態をお書き下さい。

I. 医療監視について

9. 保健師は医療監視のメンバーに入っていましたか。

1.はい 2.いいえ

10. 9で「はい」と回答した方は、保健師の①入り方と②役割についてご記入下さい。

①保健師の入り方(1.毎回 2.必要に応じて随時)
②保健師の役割()

11. 医療監視のメンバーについて該当するものすべてに○をつけてください。

①感染症担当保健師	②感染症担当でない保健師	③医師	④薬剤師	⑤環境衛生監視
⑥食品衛生監視員	⑦臨床検査技師	⑧放射線技師	⑨管理栄養士	⑩事務職
⑪その他()				

II. 施設監視・集団給食実施施設指導について

12. 施設監視・集団給食実施施設指導についてご記入下さい。

	1)高齢者福祉施設	2)障害者福祉施設	3)児童福祉施設
①保健師の同行	1.有 2.無	1.有 2.無	1.有 2.無
以下は「有」と回答した場合のみお答え下さい			
②保健師の入り方	1.毎回 2.随時	1.毎回 2.随時	1.毎回 2.随時
③保健師の役割			
④監視・指導メンバー 該当するものすべてに○をつけて下さい	1. 食品衛生監視員 2. 管理栄養士 3. 感染症担当保健師 4. 感染症担当でない保健師 5. 環境衛生監視員 6. 事務職 7. その他()	1. 食品衛生監視員 2. 管理栄養士 3. 感染症担当保健師 4. 感染症担当でない保健師 5. 環境衛生監視員 6. 事務職 7. その他()	1. 食品衛生監視員 2. 管理栄養士 3. 感染症担当保健師 4. 感染症担当でない保健師 5. 環境衛生監視員 6. 事務職 7. その他()

III. 教育機関への働きかけについて

13. 感染症予防のために保健所として教育機関に働きかけたことはありますか。

1.はい 2.いいえ

14. 13で「はい」と回答した方は、その内容について該当するものすべてに○をつけて下さい。

①教育委員会	1.教育委員会を通じて、委員会が所管する教育機関へ、感染症に関する知識や情報を提供 2.感染症の予防や発生時の備えを、教育委員会が自主的に取り組むように支援 3.日頃の情報交換や感染症発生時の対応がスムーズにできるよう、保健所と教育委員会との信頼関係を構築 4.その他()
②教育機関	1.個々の教育機関に、感染症に関する知識や情報を提供 2.感染症の予防や発生時の備えを、個々の教育機関が自主的な取り組みように支援 3.日頃の情報交換や感染症発生時の対応がスムーズにできるよう、個々の教育機関と保健所との信頼関係を構築 4.日頃の情報交換や感染症発生時の対応がスムーズにできるよう、複数の教育機関と保健所とのネットワークを構築 5.その他()

IV. 住民や関係施設等への感染症予防のための活動について

15. 保健所保健師が関わった感染症予防のための健康教育や研修の実施状況をご記入下さい。
3)実施メンバー、4)実施の機会は該当するものすべてに○をつけて下さい。

1)対象	2)実施回数	3)保健師以外の実施メンバー	4)実施の機会
①住民	回	1.保健所医師 2.市町村保健師 3.その他()	1.単独で実施 2.他の事業と一緒に実施 →事業名()
②施設 (高齢者・障害者・児童福祉・ 保育園・[])	回	1.保健所医師 2.食品衛生監視員 3.保健所管理栄養士 4.その他()	1.単独で実施 2.他の事業と一緒に実施 →事業名()
③施設 (高齢者・障害者・児童福祉・ 保育園・[])	回	1.保健所医師 2.食品衛生監視員 3.保健所管理栄養士 4.その他()	1.単独で実施 2.他の事業と一緒に実施 →事業名()
④食品衛生対象業者	回	1.保健所医師 2.食品衛生監視員 3.その他()	1.単独で実施 2.他の事業と一緒に実施 →事業名()
⑤環境衛生対象業者	回	1.保健所医師 2.環境衛生監視員 3.その他()	1.単独で実施 2.他の事業と一緒に実施 →事業名()
⑥医療機関	回	1.保健所医師 2.保健所薬剤師 3.その他()	1.単独で実施 2.他の事業と一緒に実施 →事業名()
⑦その他()	回	1.保健所医師 2.保健所薬剤師 3.その他()	1.単独で実施 2.他の事業と一緒に実施 →事業名()

16. 感染症予防のために住民や管内施設等を対象に行った活動についてお聞きます。
保健所保健師が関与した活動には○を、保健師は関与しなかったが保健所として実施した活動には△をつけてください。

活動内容	1) 実施状況 (○△)	2) 1)に○または△をつけた場合、 該当するものすべてに○をつけてください。
①管轄市区発行の広報誌による啓発活動		
②保健所発行の広報誌による啓発活動		
③市区ホームページによる啓発活動		
④保健所ホームページによる啓発活動		
⑤新型インフルエンザのパンフレットの配布		【発行者】 1.都道府県 2.市区 3.保健所
⑥感染症関連のパンフレットの配布(⑤を除く)		【発行者】 1.都道府県 2.市区 3.保健所
⑦他部署への情報提供		【頻度】 1.定期 2.随時 【対象】 1.母子保健担当者 2.成人保健担当者 3.障害福祉担当者 4.介護保険担当者 5.その他()
⑧相談対応		【対象】 1.住民 他部署 2.母子保健担当者 3.成人保健担当者 4.介護保険担当者 5.障害福祉担当者 施設等 6.高齢者施設 7.障害者施設 8.児童福祉施設 9.教育機関 10.その他()
⑨感染症対策に関連したマニュアル作成支援		【対象】 1.医療機関 2.高齢者施設 3.障害者施設 4.児童福祉施設 5.教育機関 6.その他()
⑩その他()		

V. 予防計画について

17. 結核・感染症予防計画の策定に保健所保健師は関与しましたか。 1.はい 2.いいえ

18. 17で「はい」と回答した方は、その内容や方法について具体的にご記入下さい。

D. 感染症(性感染症を除く)の早期発見を目的とした活動についてお聞きします。
 平成18年度から現在までの状況をお答え下さい。

19. 感染症に関連する情報を迅速に把握するために、保健所保健師が実施したことには○を、保健師は実施していないが保健所として実施していることには△をつけて下さい。

活動内容	1) 実施状況 (○△)	2) 1)に○または△をつけた場合、該当するものすべてに○をつけてください。
①感染症発生動向調査事業報告の確認		【頻度】1.週2回以上 2.週に1回 3.月に1~2回 4.数ヶ月に1回 5.随時
②市区内の感染症発生動向の確認		【頻度】1.週2回以上 2.週に1回 3.月に1~2回 4.数ヶ月に2回 5.随時 【情報源】1.本庁感染症担当部署 2.都道府県独自のネットワークシステム 3.都道府県衛生研究所 4.その他()
③他の地域の感染症流行の情報から管内の感染症発生・まん延の可能性を予測		
④新聞記事等マスメディアの情報整理		【頻度】1.週2回以上 2.週に1回 3.月に1~2回 4.数ヶ月に1回 5.随時
⑤住民や関係機関の相談や情報から感染症発生の可能性を察知		
⑥所内の感染症担当保健師間で情報を交換・共有		【頻度】1.週2回以上 2.週に1回 3.月に1~2回 4.数ヶ月に1回 5.随時
⑦感染症発生動向を共有し対策を検討する保健所内関係者会議の開催		【頻度】1.()カ月に()回 2.随時 【メンバー】 1.保健所長 2.感染症担当保健師 3.食品衛生監視員 4.環境衛生監視員 5.2~4以外の感染症担当者 6.感染症担当でない保健師 7.その他()
⑧感染症発生動向を共有し対策を検討する保健所主催の管内関係者会議の開催		【頻度】1.()カ月に()回 2.随時 【メンバー】 1.保健所長 2.感染症担当の保健所保健師 3.食品衛生監視員 4.環境衛生監視員 5.保健所管理栄養士 6.2以外の保健所保健師 7.医療機関 8.医師会 9.歯科医師会 10.薬剤師会 11.高齢者施設職員 12.障害者施設職員 13.児童福祉施設職員 14.学校教職員 15.教育委員会 16.その他()
⑨⑦⑧以外に感染症発生動向を共有し、対策を検討する会議への出席		【主催】1.本庁感染症担当部署 2.その他() 【頻度】1.()カ月に()回 2.随時 【メンバー】 1.本庁の感染症担当部署職員 2.保健所の感染症担当保健師 3.保健所の食品衛生監視員 4.保健所の環境衛生監視員 5.その他()
⑩管内の状況をふまえ、災害時に発生する可能性のある感染症を予測して備える		
⑪その他()		

20. 保健所の判断で、定点把握から全数把握へ変更した感染症、あるいは報告義務はないが医療機関で把握したら保健所に報告してもらうようにした感染症がありますか。

1.有(疾患名:)	2.無
------------	-----

E. 感染症発生時の体制づくりを目的とした活動についてお聞きします。

I. 感染症の予防や発生時対応に関する手引書(マニュアル)について

21. 感染症の予防や発生時対応に関する手引書(マニュアル)についてご記入下さい。

2)~4)は該当するものすべてに○をつけて下さい。

なお、3)有効性の確認、4)周知活動についてはマニュアル作成から調査時点までの状況をお書き下さい。

	1)有無	2)作成主体	3)有効性の確認	4)周知活動
①健康危機管理マニュアル	1.有 2.無	1.都道府県 2.保健所 3.その他 ()	1.実施 2.未実施 ↓*以下にご回答を 【頻度】 1.()年に()回 2.随時 【実施方法】 1.他地域で実際に起きた事例にあてはめて検証 2.シミュレーションの実施 3.その他 ()	1.実施 2.未実施 ↓*以下にご回答を 【対象】 1.医療機関 2.高齢者施設 3.障害者施設 4.児童福祉施設 5.幼稚園 6.学校 7.教育委員会 8.その他() 【方法】 1.マニュアルを送付 2.保健所運営協議会で周知 3.既存の関係者会議で周知 4.2,3以外に周知のための会議を実施 5.マニュアルを用いて研修会を実施 6.その他()
②新型インフルエンザ対策マニュアル	1.有 2.無	1.都道府県 2.保健所 3.その他 ()	1.実施 2.未実施 ↓*以下にご回答を 【頻度】 1.()年に()回 2.随時 【実施方法】 1.他地域で実際に起きた事例にあてはめて検証 2.シミュレーションの実施 3.その他 ()	1.実施 2.未実施 ↓*以下にご回答を 【対象】 1.医療機関 2.高齢者施設 3.障害者施設 4.児童福祉施設 5.幼稚園 6.学校 7.教育委員会 8.その他() 【方法】 1.マニュアルを送付 2.保健所運営協議会で周知 3.既存の関係者会議で周知 4.2,3以外に周知のための会議を実施 5.マニュアルを用いて研修会を実施 6.その他()
③その他のマニュアル (名称:)	1.有 2.無	1.都道府県 2.保健所 3.その他 ()	1.実施 2.未実施 ↓*以下にご回答を 【頻度】 1.()年に()回 2.随時 【実施方法】 1.他地域で実際に起きた事例にあてはめて検証 2.シミュレーションの実施 3.その他 ()	1.実施 2.未実施 ↓*以下にご回答を 【対象】 1.医療機関 2.高齢者施設 3.障害者施設 4.児童福祉施設 5.幼稚園 6.学校 7.教育委員会 8.その他() 【方法】 1.マニュアルを送付 2.保健所運営協議会で周知 3.既存の関係者会議で周知 4.2,3以外に周知のための会議を実施 5.マニュアルを用いて研修会を実施 6.その他()

II. 保健所内の発生時体制について:平成18年度から現在までの状況についてお答え下さい。

22. 平常時及び感染症発生時に、感染症担当保健師は、所内の職員とどのような協働活動をしていますか。該当するものすべてに○をつけて下さい。

①食品衛生監視員	1.講習会等、食監の所管事業に感染症担当保健師が協力 2.感染症担当保健師の所管事業に食監が協力 3.1,2以外に食監と感染症担当保健師が協働で事業を実施 4.所内会議で情報を交換・共有	5.4以外に日頃から情報を交換・共有 6.食品に起因すると思われる感染症が発生したとき、食監と一緒に疫学調査等を実施 7.集団発生の可能性があるとき、食監と一緒に疫学調査等を実施 8.その他()
②環境衛生監視員	1.講習会等、環監の所管事業に感染症担当保健師が協力 2.感染症担当保健師の所管事業に環監が協力 3.1,2以外に環監と感染症担当保健師が協働で事業を実施 4.所内会議で情報を交換・共有	5.4以外に日頃から情報を交換・共有 6.空気や水に起因すると思われる感染症が発生したとき、環監と一緒に疫学調査等を実施 7.集団発生の可能性があるとき、環監と一緒に疫学調査等を実施 8.その他()
③感染症担当でない保健師	1.感染症担当でない保健師の所管事業に感染症担当保健師が協力 2.感染症担当保健師の所管事業に感染症担当でない保健師が協力 3.1,2以外に感染症担当と感染症担当でない保健師が協働して事業を実施 4.所内会議で情報を交換・共有 5.4以外に日頃から情報を交換・共有	6.小規模でも感染症が発生したときは、感染症担当保健師と感染症担当でない保健師が協力して疫学調査や健康相談・健康教育等を実施 7.集団発生の可能性があるときは、感染症担当保健師と感染症担当でない保健師が協力して疫学調査や健康相談・健康教育等を実施 8.その他()
④その他 { 職種名: }	1.講習会や医療監視等、その職種の所管事業に感染症担当保健師が協力 2.感染症担当保健師の所管事業にその職種が協力 3.1,2以外にその職種と感染症担当保健師が協働で事業を実施 4.所内会議で情報を交換・共有	5.4以外に日頃から情報を交換・共有 6.小規模でも感染症が発生したときは、その職種と一緒に疫学調査等を実施 7.集団発生の可能性があるとき、その職種と一緒に疫学調査等を実施 8.その他()

23. 保健師と他職種との協働活動において課題はありますか。

職 種	1)課題有無	2) 1)で課題「有」の場合はその内容を具体的にお書き下さい
①食品衛生監視員	1.有 2.無	
②環境衛生監視員	1.有 2.無	
③感染症担当でない保健師	1.有 2.無	
④その他の職種	1.有 2.無	

24. 所内職員を対象とした感染症対策のための研修や学習会の実施状況についてご記入下さい。

1)テーマ・目的	2)対象・参加者	3)企画・実施者
①	1.所内全職員 2.感染症担当 3.食品衛生担当 4.環境衛生担当 5.感染症担当でない保健師 6.その他()	1.保健所長 2.感染症担当部署 3.健康危機管理担当部署 4.その他()
②	1.所内全職員 2.感染症担当 3.食品衛生担当 4.環境衛生担当 5.感染症担当でない保健師 6.その他()	1.保健所長 2.感染症担当部署 3.健康危機管理担当部署 4.その他()